

(2) ヒューマンスケールにおける快適なみどり空間の創出

ア 歩道状空地の持つ通行機能等の可能性を最大限発揮させる

(ア)道路との一体感

前面道路と一体的な空間にすることで、歩道機能を補完している。



歩道 | 公開空地

前面道路に歩道がないにもかかわらず、通路部分を植栽帯で隔てているため、道路との一体性を欠いている。



通路を隔てている植樹

(イ)有効幅員の確保

歩行者動線を考慮した植栽配置により、有効幅員も確保した歩行空間が生み出されている。



線路下歩行空間 | 道路側歩道

歩道状空地の植栽帯が障害となり、歩行者の通行可能な有効幅員が確保されていない。



有効幅員不足 (1m 未満)

公開空地 | 道路

凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

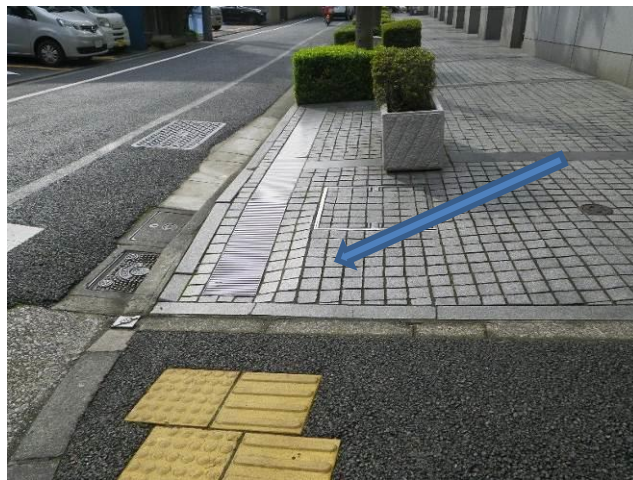
(ウ)横断勾配

広い幅員、段差がなく平らで滑りにくい路面、ゆとりある枝下空間・植栽などが空間の価値を高めている。



フラットな舗装面

前面道路とのすりつけが適切でないため、一部横断勾配がきつく、歩行しづらくなっている。



一部横断勾配がきつい

(エ)段差の解消

歩道の高さと同様にフラットに整備され、歩きやすいみどり空間を創出している。



フラットな舗装面

歩道とのすりつけに段差が生じ、バリアフリーな空地になっていない。道路管理者との調整が必要である。



段差がある。

凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

(オ) 枝下高さの確保

整備当初から一定の大きさの樹木を植栽することにより、安全に歩くことができる空間を創出している。



ゆとりある枝下高さを確保

樹木の枝下空間が確保されていないため、歩行しづらくなっている。



枝下が低く歩行に支障がある。

(カ) 滑りにくい舗装

滑り抵抗が高い舗装材料として、れんが舗装を使用している。



滑り抵抗が低い舗装材料を一部に使用しており、雨天時等では歩行上危険な面がある。



凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

(キ) 歩行動線の確保

歩道と植栽地が一体的となり、スムーズな歩行動線が確保されている。



歩行動線が適切に確保されていないため、植栽地を横切る踏圧により植栽が育たず消失してしまっている。



植栽が消失している。

横断歩道から敷地内への動線上に高木が植栽されており、歩行の支障になっている。



凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例